

向ニ於テハ都テ大藏省成規ノ通確守為致可申
因テ同省ニテ御達被下候様仕度此段奉伺候也

壬申十一月廿六日

開拓次官黒田清隆

正院

御中

伺之通

正院
印

明治六年一月九日

甲第四拾六号

官園規則更正ノ義伺

當使所轄青山并箕町三官園縱觀規則
辛未年中當使限取極掲載罷在候處今
般別記ノ通更正仕度御許容相成候ハ
、其旨警視廳并東京府一相違府下人
民一布達方等取計候様可致因テ御参
考ノ為従前規則相副此段奉伺候也

明治七年十二月九日

開拓長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

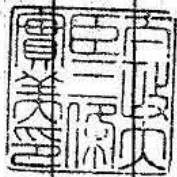
十二月

三号

開拓使

伺之通

明治八年一月七日



東京官園縦観規則

第一 縦観ヲ請フ者ハ切手ニ記載スル休日ヲ除クノ外午前第九時ヨリ午後第四時ヲ限ル

但當使官員及園内住居ノ者ニ用向アリテ來ルモノハ此限ニ在ラス

第二 車馬ハ大路ノ外ヲ行クヲ許サズ犬ヲ携フモノハ必牽行スヘシ

第三 許可ヲ得スシテ歟欄蚕室温室并製茶製糸等ノ場所ニ入ヘカラス

第四 花卉ヲ折傷シ菓實ヲ摘採リ及培草ノ地
ヲ踏ムヘカラス

第五 花樹草蔬牛乳等ノ拂下ケラモフモノハ
園内役所ヘ申出ヘシ

右ノ通改定候事

明治七年十二月

開拓使農業局

後附

揭示

官園縦觀規則

第一 此園ニ入ル者ハ切手ヲ持參スヘシ若シ
持合セサル者ハ門番所ニ於テ之ヲ請フ
ト得可シ

但當使官員及ニ官員ニ用向有テ通行
スル者ハ此限ニ在ラス

第二 馬車人力車ハ大道ノ外ニ出ルヲ禁ス

第三 鎖ヲ付ケサル犬ヲ入ルヲ許サス

第四 官負ノ許可ヲ得サル者ハ硝子室内ニ入

凡可カラス

第五 花樹ヲ摘採リ草苔ヲ踐踏シ損害スルヲ
禁ス

第六 花木菜菓等ノ拂下ケテ乞フ者ハ当役所
へ申出ツ可シ

甲第四拾六号

外國人遊歩期程ノ義伺

當使管下函館港居留外國人遊歩期程
ノ義景初ノ條約面ニハ期程九十里ト
シ有之別ニ各所ノ地名等記載無之
ニ付近來各所十里ニ當リタル路上ハ
假標柱相設ケ横文ニテ期程ヲ趣相記
シ置候處右標柱ノ場所ハ休憩等ニ供
スルキ驛舎モ無之往々難澁致候ヨリ
或ハ期程ヲ花シ候者モ有之事實不都

十二月

五号

開 拓 使